



令和5年2月28日

令和4年度彦根藩資料調査研究会公開研究会

殿様の外出

一井伊家十代当主直幸なおひでによる鷹狩りたか がと寺社参詣を中心に一
を開催します

このたび、彦根城博物館において、みだしの公開研究会を開催いたしますのでお知らせします。つきましては、広報についてご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 趣旨

彦根城博物館では、令和3年度から5か年計画で、「殿様の日常生活」の解明を研究テーマとする彦根藩資料調査研究会を組織しました。本研究会は、国から文化芸術振興費補助金（文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業）を受けて、外部の日本史研究者と共同で、井伊家当主（殿様）の生活実態の全体像の解明に取り組んでいます。

本研究会が主な分析対象としている史料が「側役日記」そばやくにつ き（彦根藩井伊家文書）ひこねはんい い けもんじょと呼ばれる、殿様の側でその政務活動を補佐した側役そばやく（彦根藩士）が記した業務日誌です。この日誌は、御殿ごてんの政務空間における殿様の行動を具体的に伝える重要な史料であり、当館に約70冊が伝来しています。このうち、半数以上が井伊家10代当主直幸の時代に連続して作成されていることから、本研究会ではまず井伊直幸に焦点を当てて分析を進めることとし、令和4年度も昨年度に引き続き同史料の研究を進めてきました。

本年度末に開催する研究会は、広く市民等も参加可能な公開研究会とし、これまでの分析で明らかになった井伊直幸の外出について取り上げることとします。直幸は、他の井伊家当主と同様に、彦根に在国している間、鷹を使って獲物を捕る鷹狩りや、井伊家の菩提寺である清涼寺せいりょうじへの寺社参詣などをたびたび行いました。これらの外出において直幸は、どの道を通って目的地へと向かい、道中や目的地では具体的に何をしていたのでしょうか、またこれらをどのような人たちが支えたのでしょうか、こうした点を詳細に明らかにし、紹介します。



2 日時・タイトル・発表者

令和5年(2023年)3月26日(日) 午後1時～午後4時30分

「『側役日記』から見る井伊家の鷹狩り」

発表者：竹内^{たけうちみつひさ}光久（当館学芸員）

「井伊家十代当主直幸の寺社参詣」

発表者：北野^{きたのともや}智也（当館学芸員）

「『側役日記』に見る馬一明和五年の記事を中心に」

発表者：並木^{なみきまさし}昌史氏（徳川美術館学芸部マネージャー（学芸員））

質疑応答・全体討論

司会：渡辺^{わたなべこういち}恒一（当館学芸員）

※タイトルは変更になる場合があります

3 会場・費用など

会 場：彦根城博物館 能舞台正面見所（彦根市金亀町1番1号 彦根城博物館内）

定 員：60名（当日受付先着順、受付は午後0時30分～）

受講料：500円

4 関連展示

本公開研究会で取り上げる古文書の一部を展示します。

会 場：彦根城博物館 展示室6

会 期：令和5年3月18日(土)～令和5年5月15日(月)

※展示室の入室には別途観覧料が必要です

（通常500円、一部休室の4月18日(火)・19日(水)は300円）

5 その他

新型コロナウイルス感染症の感染拡大などにより、開催を中止する場合があります。
最新情報は彦根城博物館ホームページに掲載します。

問い合わせ先

彦根城博物館 学芸史料課

「彦根藩資料調査研究会」係

担当：北野 智也

電話：0749-22-6100

FAX：0749-22-6520